

第3回 嘉麻市子ども・子育て支援会議 会議録

1. 審議会等の名称 第3回嘉麻市子ども・子育て支援会議
2. 開催日時 令和5年9月21日(木) 19時00分～
3. 開催場所 嘉麻市役所本庁 5階 委員会室2
4. 公開又は非公開 公開
5. 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)
6. 出席者
 - (1) 委員
会長 垂見 直樹
副会長 佐竹 正利
委員 春口 勇介、永水 秀明、井上 久仁香、大滝 知幸、赤間 秀人
(欠席：亀川 千尋、齊藤 由子、原田 留美子、石井 直彦、深見 隆行)
 - (2) 執行機関
こども育成課 課長 廣谷 友紀、課長補佐 山本 和代
課長補佐 洞ノ上 敦、保育総務係長 内山 優子
保育総務係 瓜生 花織
 - (3) 調査協力機関
株式会社サーベイリサーチセンター 下村 直輝
7. 傍聴人数(会議を公開した場合のみ) 0人
8. 議題及び審議の内容
 - 開会
 - 議事

【議題】

- (1) 子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査について
- (2) その他

【審議の内容】

(1) 子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査について

事務局から資料1により説明し、質疑応答を行った。

(事務局) 事務局から先ほどの説明に加えて提案がある。本日、国から『第三期市町村子ども・子育て支援事業計画等における「量の見込み」の算出等の考え方』が発出された。本日届いたばかりで事務局でも内容を精査できていないため、今後この内容を精査した上で、調査項目の追加修正が必要な場合は事務局にて対応した上で、委員の皆様には書面にて報告したいと考える。

(会長) 今の提案については、委員の皆様も承認されるということによろしいか。

(一同異議なし)

(会 長) 第2回会議時の調査票に対する委員の皆様からの質問・要望等はなく、嘉麻市独自の支援事業について記載するという修正が行われたということであるが、事業自体を市民の皆様がご存じないということもあるため、知ってもらう良い機会となると思われる。その他、ご意見ご質問などあるか。

(委 員) 嘉麻市独自の支援事業の宣伝を加えたことは、非常に良い修正だと考える。この宣伝について、他市町村と比較しても優れていることをアピールできれば、より一層良い宣伝となると考える。また、就学前児童保護者向け調査票の14ページの問34-1「虐待を見聞きした時、あなたはどのような対応をしましたか。」について、選択肢に「民生委員・児童委員に知らせた」を追加ほしい。

(事務局) 1点目の宣伝については、ご認識の通り、嘉麻市に住んでいる市民に対して「この支援は嘉麻市独自」だと把握していただくためにも追加した次第である。ただ、他市町村との比較については、自治体としては表現しづらい為、嘉麻市ではこのような事を独自で行っているという事を今回はこれで宣伝できたらと考える。問34-1への選択肢の追加については、この場で委員の皆様にご意見を頂戴しまして、追加ということになれば追加したく考える。

(委 員) 嘉麻市独自の支援事業の宣伝の位置は、意図的にこのような配置をしたのか、紙面の割り振りの関係で仕方なく配置したのか。

(事務局) 質問の流れの中で、回答しやすいようにという事で、このような順番で配置をしている。もし、分かりにくい等の意見があれば、この場で委員の皆様にご意見を頂戴しまして、配置場所について検討したく考える。

(委 員) この部分だけカラーにするなど、そのぐらい目立つような形で、このような事を行っているという事を知ってもらいたいと考える。目立つような工夫、効果を発揮する記載となるよう検討する余地があると感じた。

(事務局) 独自の支援事業に関しては、満足度をこちらから聞く上で、この事業は嘉麻市独自だという事を合わせて考えてもらえるのではという事でこの配置にしている。目立つようにしたいという気持ちはあるが、紙面の都合もある為、場所的にはここが合わせて見てもらえるのではないかと思う。

(委 員) 嘉麻市は人口が減っているが、それを解消するのは、子育て世代がいかに嘉麻市に定住するかが問題だと考える。この宣伝は、子育て世代を呼び込む一つの良いアピールの場だと感じた。又、虐待に関しては、児童相談所等への通報が重要であり、民生委員には、相談相手だけでなく通報の方も頑張ってもらいたいという気持ちで提案した。

(会 長) 皆様、問34-1については選択肢に「民生委員・児童委員」も追加してよろしいか。

(一同意義なし)

- (委員) 調査票に記入してそのまま郵送すると、保護者の手元に残らない為、同じ内容で別にもう一枚つけるのが望ましいと考える。又、インターネットで回答する際、回答する事によって、嘉麻市の公式 LINE に自動的に登録されるようにし、情報を受け取ってもらえるようにする事は可能か。
- (事務局) アンケートの回答フォームは情報セキュリティの高いものの利用を想定しており、自動での LINE 登録は難しく、こちらから LINE 登録をお願いする程度になる。又、支援事業の宣伝資料を別に作成して同封することについては、費用面との兼ね合いや、同封する書類が増えると埋もれてしまい見てもらえなくなるリスクが高まるため、一度検討したいと考える。
- (委員) 調査票内の「母親・父親の就労について」という表現について、祖母・祖父が育てていたり、同性同士のパートナーという形で育てていたりする人もいることを踏まえて検討すべきかと思われる。
- (事務局) この設問については、国が設定した基準に沿っている部分で、最終的に報告をする際、このニーズ調査の積み上げを県と国に報告しないといけない為、修正が難しい。
- (会長) 表紙について、これがどのようなアンケートなのかが明確に伝わりにくいのではないか。意識調査ではなく、回答の内容が法律に基づいた子育て支援事業計画を策定する為の調査であり、沢山の回答が必要だという事をもう少し明確に書いた方が良いと感じた。
- (事務局) この調査が次の計画に繋がるものである事、この積み上げが今後の嘉麻市の子育て施策に反映されるという事が直感的に分かってもらえるように修正を検討したい。
- (会長) 今回出た意見について事務局にて検討し、国からの通知を精査した上で、修正した調査票を各委員に共有し、その内容について意見等があればメール等でやり取りするという流れでよろしいか。
- (事務局) ご認識通りの方法で進めたい。

(2) その他

事務局から次回会議の日程について連絡。

・次回の日程は、3月中に開催予定。内容は調査結果の報告。

日程等決定次第、文書にて通知。

- (会長) このニーズ調査について、身の周りの方にできるだけ協力してもらおう形で、回答率が上がるよう働きかけをお願いできたらと考えている。

9. 閉会

10. 配布資料

○会議次第

○資料1 子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査に関する資料一式